

社会科学習指導案

日 時 令和〇年〇月〇日 (〇)

第5校時 13:05～13:50

対 象 第5学年1組 30名

学校名 小学校

授業者 〇〇 〇〇

会 場 教室

1 小单元名 「情報を生かすわたしたち」(東京書籍)

2 小单元の目標

- (1) 情報活用の在り方について、情報の種類、情報の活用の仕方などに着目して、各種の資料で調べ、まとめることで情報化の進展が国民生活に果たす役割や情報の適切な活用の仕方を捉える。
- (2) 情報が国民生活に果たす役割を考え、表現することを通して、情報化の進展により国民生活の利便性が向上する一方、適切に情報を見極める必要があることを理解できるようにするとともに、主体的に学習問題を追究・解決しようとする態度を養う。

3 小单元の評価規準

ア 知識・技能	イ 思考・判断・表現	ウ 主体的に学習に取り組む態度
① 情報の種類、情報の活用の仕方などについて、各種の資料で調べて、必要な情報を集め、読み取り、情報化の進展が国民生活に果たす役割や問題点、マナーやルールが必要なことを理解している。 ② 調べたことを図表や文などにまとめ、情報化の進展により国民生活の利便性が進展する一方、適切に情報を見極め活用する必要があることを理解している。	① 情報の使い方や情報活用に関連して起きている問題などに着目して、問いを見いだし、表現している。 ② 情報を活用するこれからの社会について知り、情報活用の在り方について大切なことを考え、表現している。	① 情報活用の在り方について、予想や学習計画を立て、主体的に学習問題を追究し、解決しようとしている。

4 指導観

(1) 単元観

本小单元は、小学校学習指導要領(平成29年告示)第5学年の目標(1)、(2)、(3)及び内容(4)に基づいて設定した。

目標

社会的事象の見方・考え方を働かせ、学習の問題を追究・解決する活動を通して、次のとおり資質・能力を育成することを目指す。

- (1) 我が国の国土の地理的環境の特色や産業の現状、社会の情報化と産業の関わりについて、国民生活との関連を踏まえて理解するとともに、地図帳や地球儀、統計などの各種の基礎的資料を通して、

情報を適切に調べまとめる技能を身に付けるようにする。

- (2) 社会的事象の特色や相互の関連、意味を多角的に考える力、社会に見られる課題を把握して、その解決に向けて社会への関わり方を選択・判断する力、考えたことや選択・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。
- (3) 社会的事象について、主体的に学習の問題を解決しようとする態度や、よりよい社会を考え学習したことを社会生活に生かそうとする態度を養うとともに、多角的な思考や理解を通して、我が国の国土に対する愛情、我が国の産業の発展を願い我が国の将来を担う国民としての自覚を養う。

内容

- (1) 我が国の産業と情報との関わりについて、学習の問題を追究・解決する活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。
 - ア 次のような知識及び技能を身に付けること。
 - (ア) 放送、新聞などの産業は、国民生活に大きな影響を及ぼしていることを理解すること。
 - (イ) 大量の情報や情報通信技術の活用は、様々な産業を発展させ、国民生活を向上させていることを理解すること。
 - (ウ) 聞き取り調査をしたり映像や新聞などの各種資料で調べたりして、まとめること。
 - イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。
 - (ア) 情報を集め発信するまでの工夫や努力などに着目して、放送、新聞などの産業の様子を捉え、それらの産業が国民生活に果たす役割を考え、表現すること。
 - (イ) 情報の種類、情報の活用の仕方などに着目して、産業における情報活用の現状を捉え、情報を生かして発展する産業が国民生活に果たす役割を考え、表現すること。

本小単元は、主として「現代社会の仕組みや働きと人々の生活」に区分されるものであり、大単元「情報化した社会と産業の発展」の第3小単元である。第1小単元では、情報産業が国民生活に果たす影響を理解し、その役割を考える。第2小単元では、インターネットなどの情報通信技術が産業を発展させ、国民生活を向上させていることを知る。本小単元である第3小単元では、それまでの学習を生かし、日常生活における情報活用の問題やルールやマナー、また情報化社会の特色や課題について知り、国民としてどのように関わっていくかを考える。現代社会にインターネットが普及したことによって、産業の形態が変化し、私たちの生活も便利になるとともに、コミュニケーション等の面で多様化・個別化の変化が起こっている。今後は、更に高度な情報化社会が進んでいくと思われる。さらに、インターネットによる情報は、現在の社会の課題を解決に向かわせることができる反面で、人とのつながりの希薄化、情報格差、それまでの文化の軽視・損失、人の倫理感が問われる等、様々な影響もある。児童には、情報リテラシーだけでなく、情報が社会で果たす役割について理解を深めさせ、情報化の進展の中で、人として何が大切なのかということも考えさせていきたい。

(2) 児童観

本学級の児童は、第5学年開始当初から、社会科の学習に取り組む姿勢は他の教科に比べて積極的である。6月と10月に社会科の学習に対する意識調査を行った。社会科の学習が好きな理由として、調べる活動や、知ることへの喜びを挙げている児童が多かった。また、動画やクイズなどの参加型学習が好きだと答える児童が多かった。一方で、考える、発表する活動には、課題がある児童もいた。そこで、授業では、調べたことを交流する活動、動画やゲストティーチャーへのインタビューなどを通して考える活動を組み込み、実感を伴った学びを大事にしてきた。10月の意識調査では少しずつではあるが、意欲が高まってきていることがわかる。児童のインターネットの利用状況に関しては、インターネットは全家庭にあるが、ゲーム以外で日常的に活用している児童は少な

い。インターネットによる調べ学習は、社会科や国語科などで行ってきているが、見る、調べるという機能のみの利用に留まっている。1月から一人1台タブレット PC 配布に伴い、使い方の広がりとともに、情報セキュリティやモラルに関する指導上の課題が出てきた。資料を読み取ることについては、7割程度の児童が、図や表、写真資料等から事実を読み取ることができたが、資料を相互に関連付けて考えることについては今後更に指導が必要である。これまでの学習では、資料を扱う際に読み取りの視点を明確にし、児童が社会的な見方・考え方を働かせながら調べたり考えたりできるように指導してきた。また、読み取ったことを基に、社会的事象の特色と課題について自分の言葉で整理することを繰り返してきた。本小单元では、動画で関心を高め、資料から読み取ったことを生かして、情報化社会の特色や課題を捉えさせていく。

(3) 教材観

本小单元では、インターネットを活用した社会の特色や課題を考えていく。現在インターネットは、IoT や AI なども含め、産業や私たちの生活全般において欠かせない役割を担っている。その活用上の問題点は、インターネットの特徴に起因するものが多く、またその課題そのものも多様化している。本小单元では、インターネットの活用上の課題について、児童が分かりやすい事例に限定して提示し、その現状や課題を考えさせる活動を大事にしたい。

そのために、「つかむ」の段階で、ソーシャルネットワーキングサービス（以下、SNS）を利用したフェイクニュースの事例を取り上げることにした。その事例を通して、情報発信における配慮の必要性や SNS の抱える問題に対する課題意識をもたせる。「調べる」の段階では、SNS に関する課題には他にどのようなものがあるのかを調べ、SNS の長所と短所を考えさせ、また、SNS を始めとした情報を取り扱うときに大切なこと（メディアリテラシー）を考えさせる。こうした学習の積み重ねを基に、本時「まとめる」の段階では、今までの産業の課題を情報システムの発達が解決した事例や、コミュニケーションを変化させる IoT の事例などから、情報伝達の仕組みの特色や課題を考えられるようにする。

5 年間指導計画における位置付け

	小单元名	時数
第一学期	オリエンテーション	1 時間
	世界の中の国土	4 時間
	国土の地形の特色	3 時間
	低い土地の暮らし/高い土地の暮らし	5 時間
	国土の気候の特色	3 時間
	あたたかい土地の暮らし/寒い土地の暮らし	4 時間
	オリエンテーション	1 時間
	暮らしを支える食料生産	4 時間
	米づくりのさかんな地域	8 時間
第二学期	水産業のさかんな地域	7 時間
	これからの食料生産のわたしたち	5 時間
	オリエンテーション	1 時間
	暮らしを支える工業生産	3 時間
	自動車をつくる工業	7 時間
	工業生産を支える輸送と貿易	5 時間

	これからの工業生産とわたしたち	5 時間
	オリエンテーション	1 時間
	情報産業とわたしたちの暮らし	6 時間
第二学期	情報を生かす産業	5 時間
	情報を生かすわたしたち (本小単元)	4 時間
	オリエンテーション	1 時間
	自然災害を防ぐ	5 時間
	わたしたちの生活と森林	6 時間
	環境を守るわたしたち	5 時間

6 小単元の指導計画と評価計画 (全4時間扱い)

過程	時	ねらい	○学習活動 ・予想される児童の反応	□指導上の留意点 ※資料	◆評価規準 (評価方法)
つかむ	1	情報の使い方や情報活用に関連して起きている問題に着目して、問いを見だし、学習計画を立て、解決の見通しをもつ。	『わたしたちは情報とどのように関わっていったらよいのだろう。』 ○インターネットの利用経験を話し合う。 ・遠くの友達にメールをした。 ・地震やニュースを調べる。 ○インターネットの普及率や問題を知り、問いを見いだす。 ・80%の人が利用している。 ・フェイクニュースはどのくらいあるのだろう。 ・インターネットで他にできることはあるのか。 ・他には、どんな問題があるのか。 ・良い点や悪い点は何だろう。 ・どのようなルールやマナーがあるのか。	□良い点に共通することや、課題も考えさせるようにする。 ※インターネットの普及率変化 (グラフ資料) ※フェイクニュース記事 (2020年2月トイレットペーパー買いだめ、文章資料) □普及とともに、様々な問題が起きていることに気付かせる。	◆イー① 情報の使い方や情報活用に関連して起きている問題などに着目して、問いを見出し、表現している。(ノート記述分析) ◆ウー① 情報活用のあり方について、予想し、学習計画を立てている。(発言・ノート記述分析)
<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 10px auto; width: 80%;"> <p style="text-align: center;">学習問題</p> <p>これからの情報化社会には、どのような特色や課題があるのだろう。私たちは、様々な情報にどのように関わっていけばよいのだろう。</p> </div>					
調べる	2	インターネットによって起こる具体的な問題を調べ、情報を	『インターネットには、どのような問題があるのだろう。』 ○フェイクニュースについての問題点を話合う。 ・誰が発信したかわからない。	※SNSによるフェイクニュースの件数 (文章資料)	

		<p>化における問題点の原因を話し合い、ルールやマナーが必要なことに気付く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・世界中に広がりやすい。 ○SNS について知り、特色や課題について更に考える。 <ul style="list-style-type: none"> ・いつでも、どんなところでも人とつながれることはよい。 ・いろいろな情報がすぐ手に入り、便利だ。 ・災害でも役にたった。 ・SNS いじめがあるらしい。 ○なぜ、SNS 上の問題点は起こるのかを考える。 <ul style="list-style-type: none"> ・時間や空間が制約されない。 ・名前がわからない。(匿名性) ・対面ではない。 ○本時の学習を振り返る。 	<p>※Facebook について (文章資料)</p> <p>□次時への問いへつなげる。</p>	<p>◆アー① 情報の種類、情報の活用の仕方などについて、各種の資料で調べて、必要な情報を集め、読み取り、情報化の進展が国民生活に果たす問題点やマナーやルールが必要なことを理解している。(ノート記述分析)</p>
調べる	3	<p>情報を上手に活用するにはどのようにすればよいのかを話し合い、情報の適切な活用について理解する。</p> <p>『インターネットを生活の中で活用するには、どのようにしたらよいのだろう。』</p> <ul style="list-style-type: none"> ○インターネットを使った調べ学習を体験する。 <ul style="list-style-type: none"> ・検索で友達が調べたことと違うことが出てきた。 ○メディアリテラシーについて知る。 <ul style="list-style-type: none"> ・必要な情報を選び出す。 ・内容の正しさを確認する。 ・情報を正しく伝える。 ○情報を集めるときや読み取るときに大切なことを考え、話し合い、文章にまとめる。 <ul style="list-style-type: none"> ・正しい情報か確認する。 ・難しい言葉は調べる。 ・相手のことを考える。 ○本時の学習を振り返る。 	<p>※メディアリテラシー (文章資料)</p> <p>※タブレット (実物資料)</p> <p>□集める・選ぶ、読み取る・まとめる、発信するに分けて整理させる。</p>	<p>◆アー② 調べたことを図表や文などにまとめ、情報化の進展により国民生活の利便性が進展する一方、適切に情報を見極め活用する必要があることを理解している。(ノート記述分析)</p>

ま と め る	4 (本 時)	<p>情報を活用 するこれか らの社会に ついて知り、 情報活用の 在り方につ いて大切な ことを考え、 表現する。</p>	<p>『情報を活用して生きる社会で、 私たちはどのようなことを大切に していけばよいだろうか。』</p> <p>○Society5.0 動画を見て、良い点 や課題を出す。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・便利で、時間の節約になる。 ・翻訳でいろいろな人と話せる。 ・バーチャルでは会った感じが しないだろう。 <p>○スマート農業、スマートグラス について資料で調べ、良い点や 課題を話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・時間や空間の制約がない。 ・実感できるかどうか。 <p>○これからの情報を活用する社会 についてまとめ、人にとって大 切なことを考え、話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報を読み解く力が必要。 ・考えて生み出す力をつけたい。 ・AI や IoT を使いこなす力をつ けたい。 ・人と人とが直接コミュニケー ションを図っていくことは忘 れないほうがよい。 <p>○本時の学習を振り返る。</p>	<p>※Society5.0 総務 省（動画資料）</p> <p>※スマート農業 （文章資料）</p> <p>※スマートグラス （映像・文章資料）</p> <p>□スマート農業と スマートグラスの 共通点を参考に、 それに対応するに はどうしたらよい かを考えさせるよ うにする。</p>	<p>◆イー② 情報を活用する これからの社会 について知り、情 報活用の在り方 について大切な ことを考え、表現 している。(ノート 記述)</p> <p>◆ウー① 情報活用の在り 方について、主体 的に学習問題を 解決しようとし ている。(発言・ノ ート記述分析)</p>
------------------	-----------------------	--	--	--	--

7 指導に当たって

班テーマの「児童の意欲が持続するような指導計画の工夫」を踏まえ、以下の手立てを講じる。

(1) 学習計画表の活用

年間を通して、毎時間の学習の始めに「本時の学習の進め方」、終わりに「社会的な見方・考え方をどのように働かせたか」、「何が理解でき、何を考えたか」等について学習計画表に記入させている。これにより、児童は、見通しをもって学習を進め、学んだことの積み重ねや学習内容のつながりを実感する。同時に、よりよい学びに向かおうとする態度を育てることをねらう。

(2) 「調べる」段階での資料の精選

「調べる」段階の授業では、児童が身近に感じる事例を取り上げる。情報をめぐる問題は多様で

あり、児童の発達や経験、実態に適さず理解が難しい問題もある。情報システムや機器の扱い方に深入りせず、情報をめぐる社会について、自分の考えがもてるようにする。

8 本時（全4時間中の第4時）

(1) 本時の目標

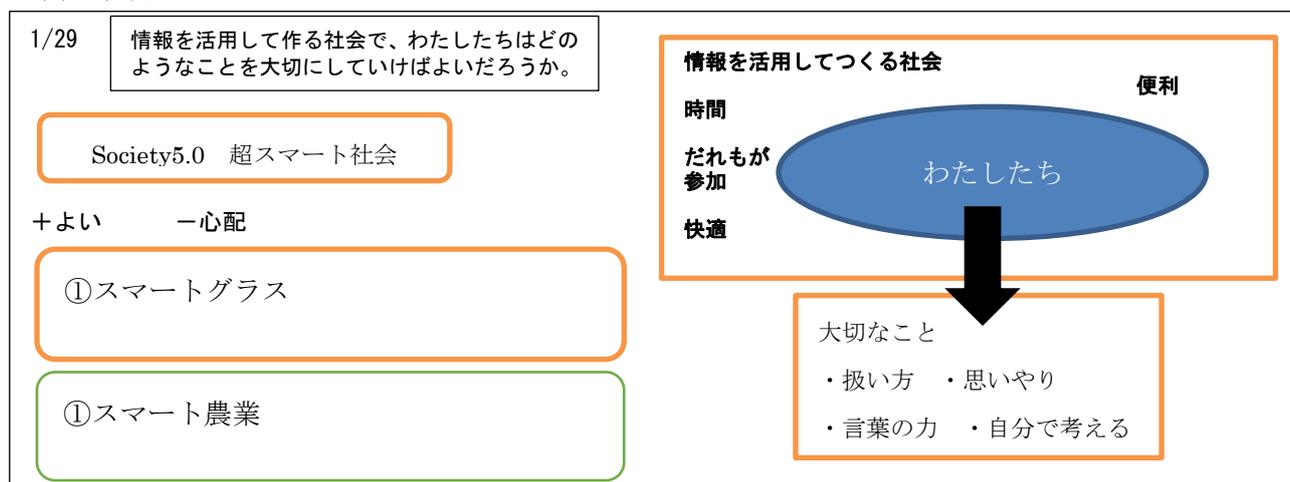
情報を活用するこれからの社会について知り、情報活用の在り方について大切なことを考え、表現する。

(2) 本時の展開

時間	○学習内容 ・児童の反応	資格指導上の留意点 ※資料	◆評価規準 (評価方法)
導入 8分	<p>○学習問題とこれまでの学習を振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報活用が進む社会は、便利で快適な生活を送ることができる。 ・AI がなんでもやってくれるだろう。 <p>○「Society5.0 5G がつなげる世界」を視聴する。</p> <p>良い点・心配な点を考え、今日のめあてをもつ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・便利な生活が送れそう。 ・使っていくのは、難しそうだ。 ・仕組が壊れたら、大変なことになりそう。 	<p>□学習問題の解決に向けて自分たちで作成した学習計画にそって進めてきていることを確認する。</p> <p>□既習から、現在の社会の課題についても触れる。</p> <p>□Society5.0用語の説明、以前の社会については、簡単な説明にとどめる。</p>	
<p>情報活用が更に進む社会で、わたしたちはどのようなことを大切にしていけばよいだろうか。</p>			
展開 25分	<p>○資料から情報活用がさらに進む社会について、必要な情報を読み取り、自分の考えをもつ。</p> <p><スマート農業による栽培></p> <ul style="list-style-type: none"> ・以前の農業は、手作業による労力、時間、経験と勘が必要とされる。 ・技術・・AIによる自動操縦、栽培管理。 ・思い・・大変な作業を効率よくしたい。 ・体力が要らない。楽に、栽培する面積が広がる。時間ができる。 ・使うのは難しい。産地の特色はなくなってしまうのかな。 <p><スマートグラスによるコミュニケーション></p> <ul style="list-style-type: none"> ・知りたいことがすぐ分かる ・3Dによる映像。 ・より便利に、どんな人とも交流できるようにしたい。 ・時間にゆとりができ、仕事が楽しくなる。 ・難しそう。交流と言えるのか。 <p>○調べたことから、「情報を活用する社会」について、考える。</p>	<p>□共通点にも注目するように声をかける。</p>	<p>◆イー②</p> <p>情報を活用するこれからの社会について知り、情報活用のあり方について大切なことを考え、表現している。 (発言・ノート記述分析)</p>

	<ul style="list-style-type: none"> ・スマートグラスと農業は、どちらも社会の課題を解決できる。 ・誰もが参加できる社会になるだろう。 <p>○学習したことを基に「これからの社会はどうあるべきか」、「私たちが大切にしていくこと」についてグループで話し合い、全体で共有する。</p> <p><これからの社会></p> <ul style="list-style-type: none"> ・誰もが安心して情報が活用できる。 ・情報を活用することで暮らしが豊かになる。 <p><私たちが大切にしていくこと></p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報を正しく見極め、生活に活用する。 ・情報機器の扱い方を正しく知る。 ・リテラシーだけでなく、自分で考えること。 ・思いやりや、人にしかない心の力。 ・言葉でコミュニケーションする力。 	<p>□「これからの社会をどのような社会にしたいか」「わたしたちができること」という二つの視点で考えさせるようにする。</p>	
まとめ 12分	<p>○学習計画表に、振り返りを書く。</p> <p><学習の内容のまとめの例></p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報技術は、これからも発達する。 ・誰もが安心して情報を活用できる社会にしなければならない。 ・人と人が直接会話するコミュニケーションはこれからも大切にしなければならない。 	<p>□振り返りは、「自分の学びのめあて」「学習の内容」の2観点を提示する。</p>	<p>◆ウー① 情報活用の在り方について、主体的に学習問題を解決しようとしている。(発言・ノート記述分析)</p>

(3) 板書計画



(4) 授業観察の視点

- ・学習計画表を活用したことは、児童の学習に見通しをもたせ、学習意欲を持続させ、よりよい学びに向かおうとする態度を育む活動として有効であったか。
- ・スマートグラス、スマート農業の資料は、情報を活用する社会に対する児童の考え方に広がりをもたせるために効果があったか。
- ・資料を読み取る際、観点をしばって資料を読み取らせ、関係図を書かせる学習活動は、児童の思考の整理に有効であったか。